



搬入したクリアランス金属について

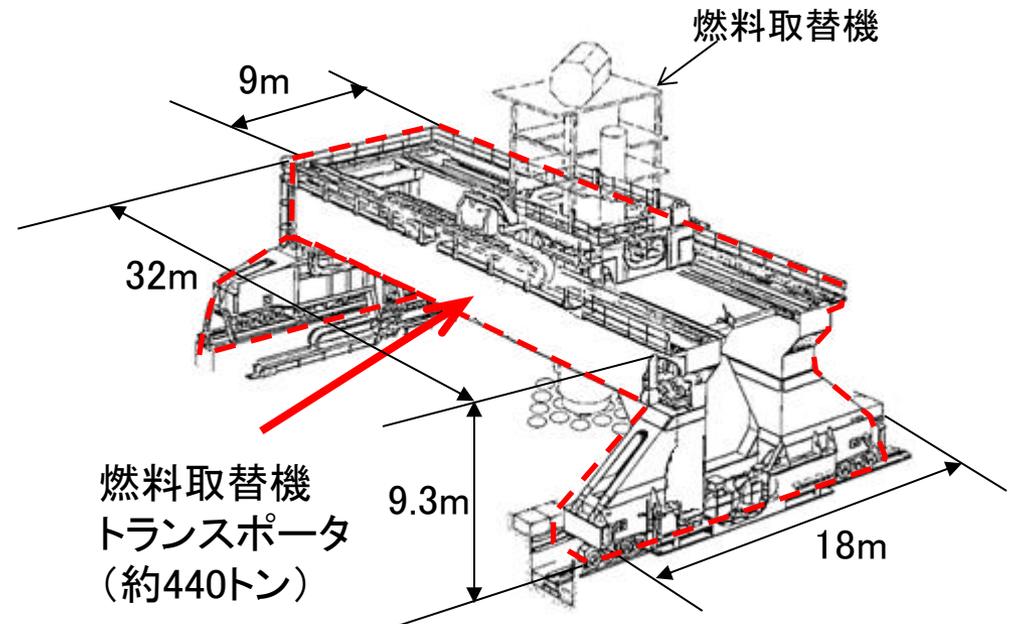
平成29年2月16日
日本原子力発電(株)

クリアランス金属

日本原子力発電(株)東海発電所(1966年7月25日～1998年3月31日まで営業運転)にて使用していた「燃料取替機トランスポータ」の解体で出たクリアランス金属(約60トン)をJSW室蘭製作所に搬入しました。



 搬出するクリアランス金属
燃料取替機トランスポータ



燃料取替機トランスポータとは、原子炉上部に設置されてる原子炉の燃料を交換するための燃料取替機を、任意の位置に移動するためのものです。
機器が設置されていたエリアは、汚染のレベルの低いエリアです。

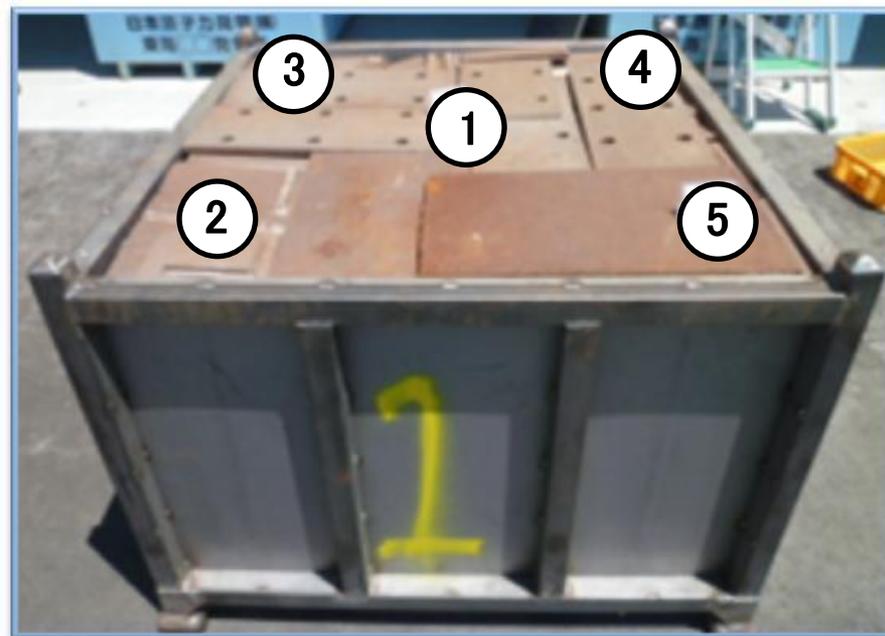
専用容器詰替え後の放射線測定①



クリアランス金属約60トン^①を14個の専用容器に詰替え、専用容器の蓋を開放した状態でクリアランス金属表面の放射線量率を測定しました。測定結果はいずれも周辺のバックグラウンドを超えるような値は検出されなかった。

- ・測定器：NaI(Tl)シンチレーション測定器
- ・測定日：平成28年6月2日～17日
- ・周辺のバックグラウンド：0.05～0.08 μ Sv/h
(地面から1m地点)
- ・測定結果：14個とも全て同じ値

測定箇所	表面放射線量率※ (μ Sv/h)
①	0.03
②	0.03
③	0.03
④	0.03
⑤	0.03



※ 測定器が示した値であり、バックグラウンドを含む

専用容器詰替え後の放射線測定②



クリアランス金属を収納した14個の専用容器を2個ずつトラックに積載し、ゲートモニタで放射線測定を行い、異常がないことを確認しました。

- ・検出器：プラスチックシンチレーション検出器
- ・測定日：平成28年6月21日

容器No.	測定結果※ ¹ (μSv/h)
1,2	～0.0038
3,4	～0.0033
5,6	～0.0032
7,8	～0.0033
9,10	～0.0041
11,12	～0.0028
13,14	～0.0033

※¹ バックグラウンドを含まない

※² 警報設定値は、 $0.01 \mu\text{Sv/h}$



トラックを6～9km/hで走行させながら測定

クリアランス金属の運搬



日本製鋼所
室蘭製作所



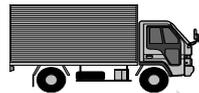
日本原子力発電
東海発電所

東海発電所からトラックで日立港に陸送し、日立港から室蘭港まで直接船で輸送しました。

日立港へ陸送 : 6/29,6/30

日立港出港 : 7/5

室蘭港搬入 : 7/7



陸送
(6/29,6/30)

東海発電所

日立港



7/5出港

海送

7/7入港・搬入

室蘭港
(JSWプライベート
ポート)

東海発電所から日立港への運搬

東海発電所



発電所内で保管している
クリアランス金属



専用容器にクリアランス金属を
詰替え、トラック※1に積載



(例)



(例)

ゲートモニタを通過※2

※2 搬出物の放射線を測定し、
放射性物質が混入していない
ことを確認



※1クリアランス金属は蓋付ボルト締め
の専用容器に収納し、トラック及び船
での運搬時には専用容器をトラック
荷台及び船デッキにベルトで固縛し
輸送中の内容物(クリアランス金属)
の安全を確保します

日立港



(例)

日立港に搬入



日立港の所定の場所に
積み下ろし



運搬船※1に積み入れ

(参考) 東海発電所の概要



電気出力	16万6,000kW
原子炉型式	黒鉛減速・炭酸ガス冷却型 (GCR)
燃料	天然ウラン
運転期間	1966年7月25日～1998年3月31日 (2001年12月4日～廃止措置着手)

(参考) 搬入するクリアランス金属の法令手続き実績

